

医学部

	設問	2018	2019	差
プロフェッショナルイズム	1-1. 「至誠一貫」の精神に基づき、人間性豊かな患者中心の医療を実践する責任感を有する。	4.2	3.8	-0.4
	1-2. 医療者としての倫理観を有する。	4.3	4.0	-0.3
コミュニケーション能力	2-1. ヒューマンイズムの精神に基づいた医療を実践するために広く良好な人間関係を構築することができる。	4.2	4.0	-0.2
	2. コミュニケーション能力 ・自分の考えをわかりやすく言語や態度で正確に伝えることができる。	4.1	3.9	-0.2
	2. コミュニケーション能力 ・情報の収集と提供を適切に行うことができる。	4.2	3.8	-0.4
専門的実践能力	3. 医師としての専門的実践能力 ・医学的知識に裏付けされた医療を実践できる。	4.0	3.8	-0.2
チーム医療	4. チーム医療 ・多職種の職能を理解して、医師としての責務を実践する。	4.3	4.0	-0.3
地域・社会への貢献	5. 地域・社会への貢献 ・地域医療に参加し、地域住民の健康回復・維持・向上に貢献できる。	4.0	3.8	-0.2
自己研鑽	6-1. 自己研鑽 ・最新の知識や技能を生涯にわたって獲得する意欲と態度を有し、医療の発展に貢献できる。	4.2	3.9	-0.3
	6-2. 自己研鑽 ・医療における自らの行動を常に省察して、自己改善に努める。	4.2	3.9	-0.3
国際性	7. 国際性 ・国際的視野を持って海外と交流ができる。	3.6	3.3	-0.3
.....	8. アイデンティティー ・昭和大学の伝統を重んじ、その名誉を高めるために全力を尽くす。	4.1	3.8	-0.3

歯学部

	設問	2018	2019	差
プロフェッショナルシナリズム	1. 歯科医師としての責務を自覚し、強い責任感と倫理観を持って、患者や地域住民に医療を提供できる。	3.9	3.9	0.0
コミュニケーション能力	2. 適切な言葉や態度によるコミュニケーションを介して、良好な人間関係を構築するとともに、必要な情報を収集・提供できる。	4.0	3.9	-0.1
チーム医療	3. とともに医療を担う多職種の職能を相互に理解・尊重し、歯科医師の専門性を発揮し、患者中心の医療を実践できる。	4.0	4.0	0.0
専門的実践能力	4-1. 臨床情報の集約 適切なコミュニケーションのもとに信頼関係を築き、患者の主訴や医療情報を聴取、記録できる。	3.9	3.8	-0.1
	4-2. 診断と治療計画 集約された臨床情報に基づき、鑑別すべき疾患を考慮して基本的な診断を行い、一患者単位の総合治療計画を立案できる。	3.7	3.7	0.0
	4-3. 口腔の健康の確立・回復と維持 ・治療計画に沿って口腔の健康の確立・回復に参画できる。	3.8	3.8	0.0
	4-4. 予防とヘルスプロモーション ・地域住民の口腔の健康維持と心身の健康との係わりへの理解を啓発し、改善および予防の指導ができる。	3.7	3.7	0.0
社会的貢献	5. 社会的背景を把握し、地域社会における活動を通して、国民の健康回復、維持、向上及び疾病の予防に貢献する。	3.7	3.8	0.1
自己研鑽	6. 常に自己を振り返るとともに、他者からの評価も受け入れ、至誠一貫の精神と向上心を維持する。	3.9	3.8	-0.1
アイデンティティ	7. 昭和大学の伝統を重んじ、その名誉を高めるために全力を尽くす。	3.8	3.8	0.0

薬学部

	設問	2018	2019	差
プロフェッショナルスキル	1. 薬剤師としての責務を自覚し、強い責任感と倫理観を持って、患者や地域住民に医療を提供できる。	4.0	4.1	0.1
コミュニケーション能力	2. 多様な背景を持つ人々と良好な人間関係を築き、患者や医療者との間で必要な情報の収集・提供を適切に行うことができる。	4.1	4.1	0.0
チーム医療	3. 医療を共に担う多職種の職能を理解・尊重し、連携しながら薬剤師の専門性を発揮し、患者中心の医療を実践できる。	4.1	4.2	0.1
専門的実践能力	4-1. 医薬品の調製、管理、供給 医薬品の多様な特性と法的規制を理解し、医薬品の調製、管理、供給を適切に実施できる。	3.8	3.9	0.1
	4-2. 薬物治療の計画・実践・評価 患者の病態および患者・家族の心理・社会的背景を把握した上で、科学的な根拠と医薬品の特性に基づいて安心・安全な薬物治療を実践できる。	3.9	4.0	0.1
社会的貢献	5. プライマリケア、セルフメディケーション支援、在宅医療等を通じ、地域住民の疾病予防、健康回復・維持・増進と公衆衛生の向上に貢献する。	3.9	3.9	0.0
自己研鑽	6. 薬学研究と自己研鑽 科学的な探求心を持ち、医療・薬学に関わる問題を発見し、解決するための方策を提示できる。また、最新情報を国際的視野に立脚して生涯にわたって獲得する意欲と態度を有する。	3.9	3.9	0.0
アイデンティティ	7. 昭和大学の伝統を重んじ、その名誉を高めるために全力を尽くす。	3.8	3.9	0.1

保健医療学部 (3学科)

	設問	2018	2019	差
プロフェッショナルリズム	1. 看護師・理学療法士・作業療法士としての責務を自覚し、強い責任感と倫理観を持って、患者や地域住民に医療を提供できる。	4.3	4.0	-0.3
コミュニケーション能力	2. 多様な背景を持つ人々とコミュニケーションを介して良好な人間関係を築くとともに、必要な情報の収集と提供ができる。	4.0	4.0	0.0
チーム医療	3. とともに医療を担う多職種の職能を相互に理解・尊重し、多職種と連携・協力しながら看護師・理学療法士・作業療法士の専門性を発揮し、患者中心の医療が実践できる。	4.4	4.1	-0.3
専門的実践能力	4-1. 看護・理学療法・作業療法に関する基本技術 人間の科学、健康の科学と看護・理学療法・作業療法の科学についての幅広い知識を踏まえ、看護・理学療法・作業療法に関する基本的な技法を適切に実施できる。	3.8	3.9	0.1
	4-2. 治療・ケアの計画・実践・評価 患者の病態とともに患者・家族の心理・社会的背景などを把握した上で、科学的な根拠に基づく安心・安全な治療・ケアが実践できる。	4.2	3.9	-0.3
社会的貢献	5. 看護師・保健師・理学療法士・作業療法士として、地域における人々の疾病予防、健康回復・維持・増進と地域の公衆衛生の向上に貢献する。	3.8	3.6	-0.2
研究と自己研鑽	6-1. 研究 保健医療に関わる研究課題に取り組む科学的探究心を有するとともに論理的・批判的な視点から問題を発見し、解決するための方策を提示できる。	3.3	3.5	0.2
	6-2. 自己研鑽 最新の知識や技能、必要な情報を国際的視野に立脚して生涯にわたって獲得する意欲と態度を有するとともに、自らの行動を常に省察して、他者の評価をも受け入れ、自己向上に努める。	3.8	3.9	0.1
アイデンティティ	7. 昭和大学の伝統を重んじ、その名誉を高めるために全力を尽くす。	4.3	3.8	-0.5